さんさん、きらきら　35号

光り、輝く、チーム南陽小　～考えよう、語り合おう～

令和5年5月18日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長　寺田　成広

運動会に向けて

日曜日は、いよいよ運動会です。大型連休明けから2週間、負担にならないように、また他の学習に支障が出ないように配慮して、練習や準備を進めてきました。数年前ならば、運動会練習期間の特別な時間割を組み、学年の練習や開閉会式の練習にけっこうな時間をかけていました。応援の全校練習だけで、2～3時間とることもありました。そうすることが「運動会に向けた当たり前」でした。

しかし、コロナ禍でのスリム化した運動会を検討する中で、子どもたちや教職員にとって負担が大きいことや、1学期のカリキュラムを進める上で他教科に影響を及ぼしていることを認識しました。これらを改善しながら、子どもたちの頑張りを披露し、体育技能の向上を目指す運動会にしなければならないと考えています。ご理解ご協力をお願いします。

他の練習の画像はこちら ⇒ 運動会の練習あれこれ|長崎市立南陽小学校（nagasaki-city.ed.jp）

今日明日の天気は崩れそうで、締めくくりの練習や会場設営が計画どおりには進められないようですが、「南陽小の子どもたちと教職員ならば何とかしてくれる。」と思っています。当日の子どもたちは、今年のスローガン『楽しくあきらめず　全力で　光り輝け　南陽小』を体現してくれることと期待しています。久しぶりに参観者数の制限がない運動会なので、ご家族ご親戚お誘いあわせの上ご来校ください。

育友会総会でお話ししたこと

学校だよりの発行が空いたため、お伝えするのが遅くなりましたが、先日の育友会総会では、お話をさせていただきました。直接話を聞いていただける貴重な時間でしたので、項目を立てメモにまとめた上で話しました。以下がそのメモになります。当日都合で参加できなかった方に、また参加された方も確認として読んでいただけると幸いです。（話す内容メモのため、文末表現にはご容赦ください。）

〇本校2年目となる校長の寺田。お忙しい中での、授業参観・懇談会・総会への出席に感謝を述べる。

〇令和5年度が始まり1か月足らず。子どもたちから進級・入学の喜びや新たな気持ちで1年を過ごそうとするやる気を感じている。このやる気をいかに継続させるか、さらに高めるかを考えながら子どもたちに向き合っている。

〇目指す学校の姿について、昨日の学校だよりで発信したのでその補足となる。『しっとり落ち着いた学校』という表現をしている。心が潤った、満たされた状態を指している。どうすればこの状態になるのかは、人の5大欲求、生存、安全、所属・愛情、承認、自己実現を満たすこと。最近よく使われる言葉で言い換えるなら、『ウェルビーイング』と言える。

〇子どもが中心であるが、私たち教職員、保護者の皆様、地域の皆様が互いに満たし合う、互いを大切にすることでこの状態に至る。その状態を光り、輝く状態として、学校教育目標を『光り、輝く、チーム南陽小』とした。ぜひ目標達成に力を貸してほしい。

せっかくの機会なので、他にお知らせやお願いを6点したい。

〇1点目は、学校の相談体制。お子さんの気になることがあれば、遠慮なく担任、または私や教頭、合わせて教育相談コーディネーターとして養護教諭の●●、特別支援教育担当の●●、●●、●●へ連絡を。有り難いのが、南陽小の保護者の皆様は、相談・お尋ねのスタンスであること。相談には、誠意をもって迅速に対応する。ぜひ今後も変わらぬスタンスをお願いする。

〇2点目は学力の向上。学力調査の結果は、6年、4年の国語が長崎市の平均と同等、算数や他の学年の国語は平均以下だった。調査問題は、これからの時代に必要な力を測っている。南陽小の子どもたちの人柄や学習への取り組み方を見ると、こんなものではないと思っている。伸びしろは大きい。学力を上げるということを共通理解して、保護者の立場から子どもたちを励まし、支援してほしい。

〇3点目は、メディア機器との関わり方。一人1台端末が入り、基本的に毎日使うことが日常となっている。学習効果が上がる使い方について協力、支援をお願いしたい。クロムブックは、不適切な言葉を入力すると教育研究所でヒットし、どの端末からどんな言葉が入力されたかが分かるようになっている。併せて、スマホやゲーム機、オンラインゲーム等との関わらせ方もしっかりと親の目で管理をお願いする。具体例をあげると、フォートナイトは15歳以上が対象となっているが、ダウンロードして課金を繰り返したり、オンライン上でグループのトラブルが起こったりしている。

〇4点目はウィズコロナでの学校教育活動。コロナウイルスの感染拡大でブレーキを踏んだ。感染の波が来る中で、ブレーキとアクセルを同時に踏むような状態となった。いよいよブレーキを踏む力を弱める時期となった。但し、全てがコロナ前に戻るのかといったらそうではない。教育活動を見直す機会となったのは事実で、精選化、スリム化が進んだ。ここを踏まえた教育活動のリスタートとしたい。

〇5点目は、「車を使用した引き渡し訓練」の実施。大雨、台風等の自然災害対応の引き渡しでは、車でのお迎えが現実的である。初めは大混乱する恐れがあるが、実施する。ご理解ご協力をお願いする。

〇最後の6点目は、教材費の集金について。現在担任が回収から支払いまで行っている会計を、担任が現金を触らなくてよい形に変更しようと考えている。2学期からの実施を予定している。集金期間の短縮や、もしかしたら会計業務の手伝いを募集するかもしれない。ご理解ご協力をお願いする。

〇ご清聴への感謝を述べる。1年間よろしくお願いします。

校則のホームページでの公開

このところ、ブラック校則や時代に即さない校則が報道等で取り上げられて、話題になっています。

学校の生徒指導の手引きと言える『生徒指導提要』には、「校則とは、児童生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくために設けられるものです。校則は、 各学校が教育基本法等に沿って教育目標を実現していく過程において、児童生徒の発達段 階や学校、地域の状況、時代の変化等を踏まえて、最終的には校長により制定されるものです。」と書かれています。

また、「校則を守らせることばかりにこだわることなく、何のために設けたきまりであるのか、教職員がその背景や理由についても理解しつつ、児童生徒が自分事としてその意味を理解して自主的に校則を守るように指導していく ことが重要です。そのため、校則の内容について、普段から学校内外の関係者が参照できるように学校のホームページ等に公開しておくことや・・・」ともあります。

これを受けて、長崎市も学校の校則をホームページで公開することとなりました。南陽小学校には、いわゆる「校則」という文書はありませんが、子どもたちが学校生活において守るべき「くらしのきまり」がそれにあたるものとして、ホームページにアップしました。ご覧いただき、お気づき等があれば学校までお伝えください。

こちらをクリック ⇒ 2023 南陽っ子 くらしのきまり|長崎市立南陽小学校 (nagasaki-city.ed.jp)